



連載

みんなで盛り上げよう！ オリンピック・ムーブメント

オリンピック・ムーブメント事例紹介



興本(おきもと)倶楽部 ＜東京都足立区＞



オリンピック・ムーブメントとは、オリンピックの精神(オリンピズム)に従って、スポーツを通じて平和でよりよい世界の実現を目指す活動のことです。2020年に向けて国内でもさまざまな活動が行われています。

今回は、興本倶楽部(東京都)が実施しているオリンピック・ムーブメント関連の取り組みを紹介いたします。

米国人講師による英会話教室 ＝ボランティア等での関わりを目指し＝

実施日時	平成27年5月からスタート、週1回火曜日に開催
実施会場	足立区立興本小学校内の和室
参加者数	1教室30名 受講者＝中学生30名、高校生10名、一般10名
講師	米国人1名
主催	興本倶楽部
後援	足立区

1

企画経緯

2020年東京オリンピックを迎えるにあたり、色々な国の人達が東京を訪れる時に少しでも英語が話せるようになってもらいたい、機会があったら若者たちがボランティアとしてオリンピックに関わる人材になってほしいとの思いがありました。さらに、英会話を覚えることで学業にも反映されればと、クラブマネジャーが英会話教室の立ち上げを企画・立案しました。

講師の選定ですが、たまたまクラブマネジャーの知り合いに米国人がいました。日本に20年以上在住している男性のロバート・サンタナさんで、足立区の施設で長年英会話講師を務められていたことから、講師にうってつけとの判断で就任を要請しました。受講料は10回コースで計1万円、講師への謝礼は1教室1万円で運営しております。

2

企画内容

〈英会話教師の概要〉

- 2020年東京オリンピックでボランティアとして活動できるよう中学生、高校生、成人を対象に米国人講師が簡単な挨拶程度の英会話を指導。2020年に向け、計100回行うことが目標
- 中学生だけを1教室とし、高校生以上は別の1教室で一緒に学ぶ
※1日2教室開催
- 中学生30名、高校生10名、一般10名の定員制を採用
※高校生以上の教室にはクラブスタッフも参加
※時には小学校の先生が飛び入り参加することも
- 教本やCD、音響機器は使わず、ホワイトボードを活用
※講師がテキストを用意するが、受講者が下を向いてしまうため見ないよう講師が指示
- 講師は日本語堪能ながら、教室では日本語は一切使わず、すべて英語で授業を実施

3

参加者・運営側の声

参加者(保護者等)の声(実施後)

- 米国人講師に習えて学校の授業と違う発音や会話が習えて楽しそうだった。
- 中学生には、なかなか難しく、声に出して話すのが大変でした。
- 高校生は、とても上手に会話ができるようになり、(保護者のみなさんにも)好評です。

運営者の声(実施後)

- 高校生の習得が素晴らしく、質の高い教室にすることができた。
- 講師の先生が米国のお菓子などを沢山持って来てくれて、日本では味わえない甘さや辛さを体験しながら米国の文化にも触れられた。

4

継続開催が重要 足立区とも連携し合同開催に発展

参加者は簡単な挨拶や道案内などをほぼ覚えましたが、継続して使っていないと忘れてしまうので、足立区と連携して幅広く展開していくことになりました。その結果、クラブだけの実施ではなく、近くの足立区生涯学習センターでも合同開催するまでに発展しております。合同開催の参加者は高齢者の一般区民が主体ですが、クラブの一部受講者も参加しています。

今回の生徒たちには、ぜひ東京オリンピックの際に活躍してほしいと願っています。

(興本倶楽部 クラブマネジャー飯ヶ谷 美恵)

クラブプロフィール

設立年月日 平成27年12月10日

所在地 東京都足立区扇3-22-1

特徴 地域の子供達の体力向上、健全育成に努めている。

高齢者の介護予防・コミュニケーションづくり

若者世代をスタッフに取り入れて育成し、大変活躍している。

連絡先 〒123-0873 東京都足立区扇3-22-1 足立区立 興本小学校内
TEL 03-3890-7481 (FAX同)
E-Mail okimotokurabu@ybb.ne.jp



アメリカ人講師による一般の部英会話
なかなか発音が難しい...



中学生の部
とても熱心で覚えが良い